

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7 年 7 月 3 日 (木)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

カラーセロファン感触や音を楽しむ

<テーマの設定理由>

カラーセロファンを使用したとき、音の鳴る様子や感触に興味を持っていたので、さらに探求してみようと思った。

2. 活動スケジュール

カラーセロファンを渡し、子ども達の反応を見て声をかけたり、気づけるように声をかける。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

扱いやすい大きさに切ったカラーセロファンを数色用意する。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

ひとりずつ一枚カラーセロファンを渡し、顔に当てたり、上から雨の様に降らせてみたりと色の変化を楽しむ。その後、握ったり、振って音の鳴る様子やセロファンの感触を楽しむ。カラーセロファンを通して見る周りの様子などにも興味持てるようにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① カラーセロファンを渡すと顔を隠して「ばあ」と声をかけると笑顔を見せ、同じように子どもも行ってた。



② 耳に当てている様子を見て、保育士が「もしも〜し」と言うと子ども達も同様に同じ姿も見られた。



③ カラーセロファンを上から雨の様に降らせると、揺れる様子などを目で追ったり、興味を持ち手を伸ばしていた。



④ 保育士の「いい音するね」に反応し、握ったりして音を鳴らしたり、カラーセロファンの感触を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育士の声掛けや子どもの行動や行為に合わせて声をかけることで、気づきや遊びの発展も見られた。丸める、引っ張る、など手や指を使っていることで発達を促すようになっているように思う。制作のために用意したものが子ども達が興味を持つものや遊びにつながっていることに改めて気づくことが出来た。子どもたちなりに、工夫する姿なども見ることが出来た。カラーセロファンという素材1つで、色々な音が出たり、色々なことが出来るので、思っていたよりも長い時間集中して遊ぶ事が出来ている様子が見られた。